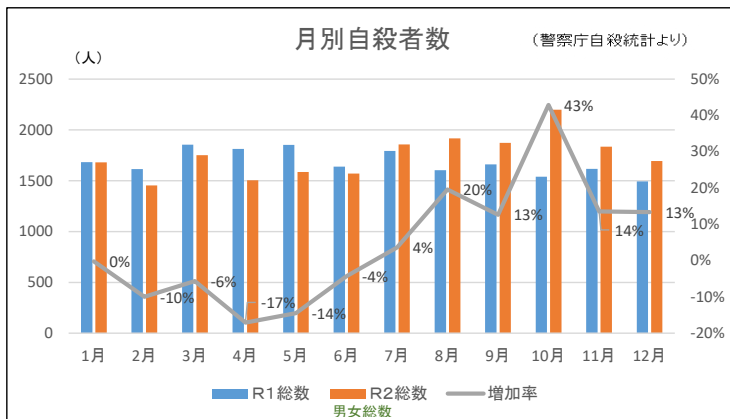
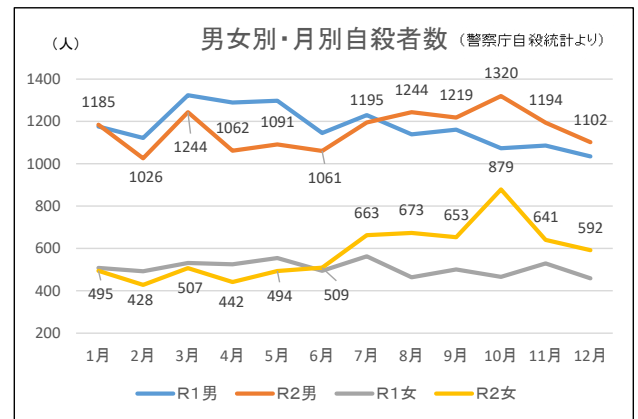


(1) 令和2年 国の自殺の現状

資料1-①

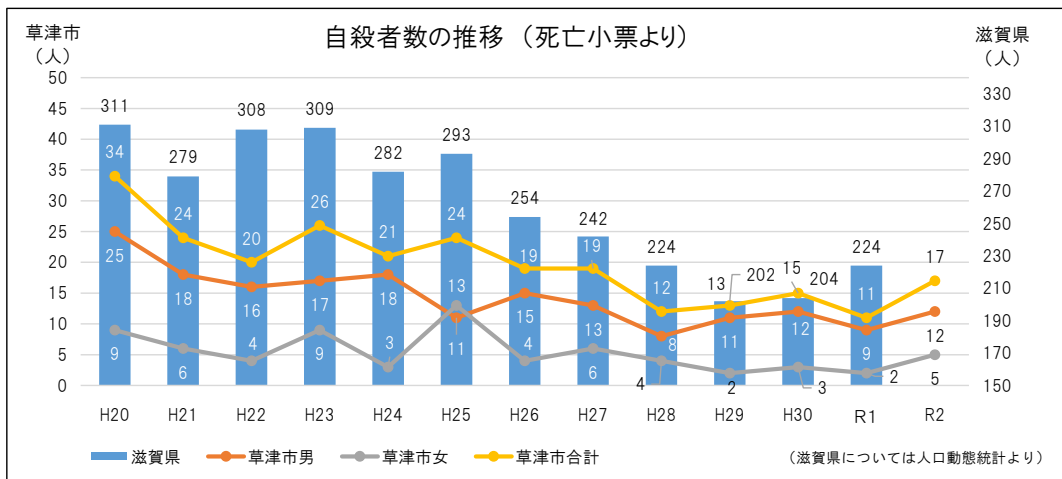


6月まではR1年と比べて減少傾向でしたが、7月以降、増加しています。10月は増加率43%と高くなっています。

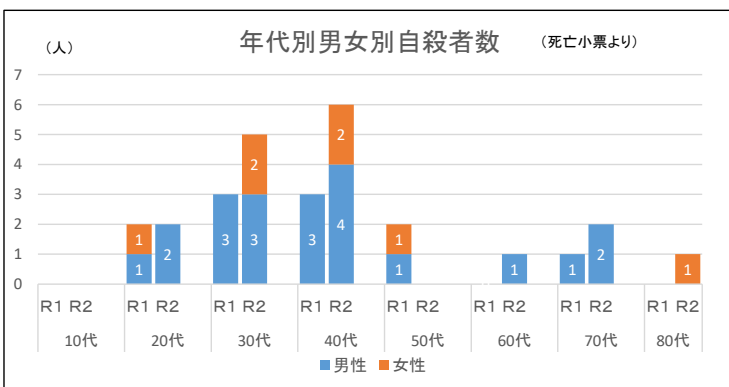


R2年前半は、男女ともにR1年を下回っていましたが、男性は8月以降、女性は6月以降、R1年を上回る人数となっています。10月は男女とも最も多くなっています。

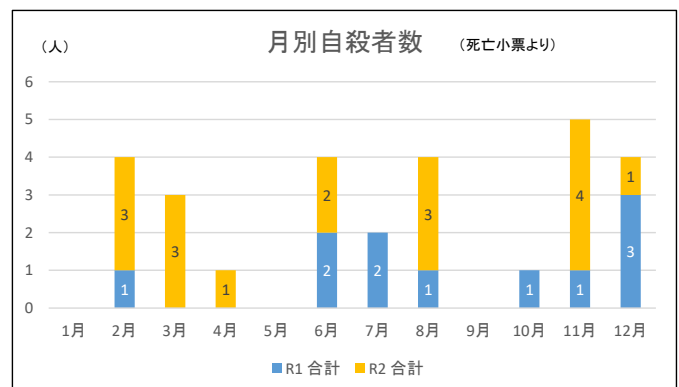
(2) 草津市の自殺の現状



・草津市の自殺者数は平成21年から5年間の平均は23人、その後平成26年から5年間の平均は13人と減少傾向でした。平成28年以降、漸増していますが、令和元年は、11人と最も少数でした。女性の自殺者数は低く推移しています。
・令和2年1月から令和2年12月(令和3年1月把握時点)で、自殺者は17人でした。



30代、40代、60代、70代でR1年より増加しています。R2年においては、40代男性、30代男性の順に自殺者が多くなっています。



草津市では11月に最も多くなっています。